



令和2年度(第75回)文化庁芸術祭参加公演

日時

令和2年11月7日(土) 13:30開場/14:00開演

場所

京都府立府民ホールアルテイ 京都市上京区烏丸通り一条下ル TEL075-441-1414

入場料 [前売券] 4,000円 [当日券] 4,500円

三好美山尺八之会

題字：川瀬みゆき

出演 三好美山(尺八)

藤本昭子(三弦)

毛塚珠子(箏)

大谷祥子(三弦)

高橋佳子(箏)

島田洋子(三弦)

倉橋文子(箏)

●後援 (公財)日本伝統文化振興財団

(有)邦楽ジャーナル

京都三曲協会

●入場券取扱い

京都府立府民ホールアルテイ(TEL075-441-1414)または左記事務局まで、電話、FAX、Eメールのいずれかにて、住所・氏名・ご連絡先電話番号とチケットの枚数をお知らせください。ご自宅まで郵送させていただきます。

●事務局：京都市北区大宮薬師山東町11-13

TEL(075)371-8972 FAX(075)492-9404

E-mail: genzan@genzan.co.jp

演目

手事物 四季の眺

松浦検校 作曲

八重崎検校 箏手付

殿村平右衛門 作詞

手事物 歌曲

虫の武蔵野

宮城道雄 作曲

都山流本曲 寒月

流祖 中尾都山 作曲

手事物 笹の露

菊岡検校 作曲

八重崎検校 箏手付

島田両造 作詞

※裏面もご覧ください

尺八が魅せる三曲の世界【演目の聴きどころ】

手事物 四季の眺

松浦検校 作曲

地歌が主役で、箏が装飾役であり、尺八はその両者を引き立て輝かせる役目。そのような役割の三者で春夏秋冬の花を歌に組み入れ、季節の情景を歌います。

手事物歌曲 虫の武蔵野

宮城道雄 作曲

伴奏楽器としての尺八ではなく、三重奏として尺八の特性を生かした手付をどのように吹くか。又、秋の武蔵野の情景を歌・箏・三弦・尺八でどのように表現するかが聴きどころです。

都山流本曲 寒月

流祖 中尾都山 作曲

尺八の生命は、息を用いて標題の感情をどう表現するか。「寒月の凍てつく冷たい光」と「春の訪れを告げる柔和で仄かな梅花の香り」をどのように吹き分けるかが聴きどころです。

手事物 笹の露

菊岡検校 作曲

別名「酒」とも呼ばれ、酒の効能を歌の中に折込み「酒を飲まねばただの人」と歌います。三曲合奏の代表的な曲で尺八も大いに活躍します。

出演者 プロフィール



三好 荒山 (尺八)

京田辺市生まれ。幼少より富井舜山に師事。箏曲家である母(三好敦子)の影響で高校生の頃より演奏活動を行う。演奏は古典がベースであるがポップス・ジャズ等、西洋音楽との共演も多く、幅の広い演奏家である。又、教育者としても多くの門人(職格者100人以上)を育てる一方外務省からの要請で多くの国で日本伝統文化の紹介に貢献。近年はCD18枚からなる地歌の収録や制作、イベントプロデューサーとして活躍をする。京都市文化賞功労賞受賞。京都市文化芸術協会賞。大阪府文化祭奨励賞。都山流竹琳軒大師範。清荒社社主。邦楽アンサンブルみやこ風韻団長。初心の会会員。日本三曲協会、杉並三曲協会、京都、宇治三曲協会会員。



藤本 昭子 (三弦)

九州系地歌箏曲演奏家。幼少より祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏・三弦の手ほどきを受ける。1995年、第1回リサイタル開催。現在まで16回開催。2001年より、古典の新たな可能性を追求する「地歌ライブ」を連続開催。現在まで96回開催。19年、高橋翠秋、鶴澤津賀寿、善養寺恵介と共に「SATZ」結成。20年4月、CDアルバム「雪墨」リリース。欧米各国で「地歌公演」多数開催。日本伝統文化振興財団賞、文化庁芸術祭新人賞、伝統文化ボーラ賞奨励賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。正派音楽院講師。



毛塚 珠子 (箏)

名古屋市出身。深海さとみに師事。東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。アメリカ・フランス・台湾・スイス・スウェーデンなど海外公演に参加。平成19年度宮城道雄記念コンクールにて1位を受賞。2009年よりリサイタルを開始する。舞台での演奏・録音で活動する他門人の育成に力を注いでいる。宮城社大師範。日本三曲協会・生田流協会会員。森の会会員。深海邦楽会会員。深海合奏団団長。箏曲組歌会会員。杉並三曲協会総務。珠音会主宰。



大谷 祥子 (三弦)

箏曲家。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。賢順記念全国コンクール1位。平成13年度文化庁インターンシップ研修生。平成25年度文化庁芸術祭新人賞受賞。福井県あわら市にある吉崎御坊蓮如上人記念館館長、京都市「DO YOU KYOTO?」大使。本願寺文化興隆財団参議。みやこ風韻副団長。ジャポニスム振興会副会長などを務める。



高橋 佳子 (箏)

幼少の頃より宮城社大師範 母、高橋奈津曳、芦垣美穂の各師に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院修士課程修了。在学中宮城賞、NTTDコモ賞受賞。宮城会全国コンクール1位。長谷検校コンクール優秀賞。郡山市教育委員会より郡山市芸術文化新興褒章メダル受賞。郡山市文化団体より文化栄誉賞受賞。NHK邦楽技能者育成会45期卒業。平成15年度文化庁インターンシップ研修生。NHK邦楽オーディション合格。ビクター邦楽オーディション合格。CD「生田流箏曲 高橋佳子」を発売。現在、宮城社大師範 日本三曲協会会員。



島田 洋子 (三弦)

北海道出身。幼少の頃より箏の稽古を始め、その後、京都にて倉部治子に三弦を師事する。亡夫、島田重弘の助演者として舞台、FM放送に活躍し、指導者としても多くの門下生を育てる。現在、箏曲合奏研究団体「島田塾」を主宰。創明音楽社大師範。京都三曲協会会員。



倉橋 文子 (箏)

大阪府出身。京都市在住。幼少より生田流箏曲を前田礼子(母)に、九州流地歌三絃を佐々川静枝に師事。現在フリーの演奏家として活動中。倉橋容堂(夫)とともにアメリカ(オクラホマ・テキサス・ワシントンDC・カリフォルニア)、オーストラリア、カナダ、ベルギー、オランダ、スイス、中国でジョイントリサイタルを開催。2019冬には、中国雲南省で日本音楽を紹介。「あや音会」主宰。静礼会・京都三曲協会・箏曲女流協会会員。関西室内邦楽・ささ音会同人。